

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体的全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

東京YMCAが運営受託

江東区の児童育成支援

現在東京YMCAでは、江東区より東雲第二児童クラブの運営委託を受けているが、2007年4月から東雲第三児童クラブの運営委託も受けることとなった。第三児童クラブは、第三児童クラブから児童への対処の一環である。青少年の育成に継続的に関わっている東京YMCAには、第二児童クラブの運営実績を活かし、さらなる地域児童育成支援が期待されている。(編)

東雲第三学童クラブ
江東区の児童育成支援

童への対処の一環である。青少年の育成に継続的に関わっている東京YMCAには、第二学童クラブの運営実績を活かし、さらなる地域児童育成支援が期待されている。(編)

= 公 示 =

会員部運営委員立候補受付

会則第4章10条に基づき、会員部運営委員の立候補を下記により受け付けます。

- 資格：20歳以上の東京YMCA会員
■任期：1年とし、再任を妨げない。但し、継続して3期を超えない。
■受付期間：2007年1月25日～3月31日
※所定の用紙に記入の上、会員部に提出。
■申込み・問合せ：会員部
☎：03-3615-5568
E-mail：kaijin@tokyo.ymca.or.jp

赤 三角

手許に小さなサインブックがある。何か引出しの故か引出しの位置を動かない。東京YMCA会員活動の原形を忘れるなどの暗示だろうか。▼それは、1952年夏、山中湖畔で共に暮らしたキャンパーが私に寄せて書いたものである。書き手も宛先の私も名前はみなキャンブネームである。私のそれは1947

仲田達男

新年おめでと
いげれこまつ。

東京YMCAへの
の昨年のご協力
に心より御礼申
し上げると共に、
この一年の
ご支援をよろし
くお願いいたし
ます。



心年に



し、活氣を呈してきたことは喜ぶべきものでありました。しかしながら、借館であるが故に借館料

命達成する事業
を行うことは、
決してたやすい
ことではありま

新年のご挨拶

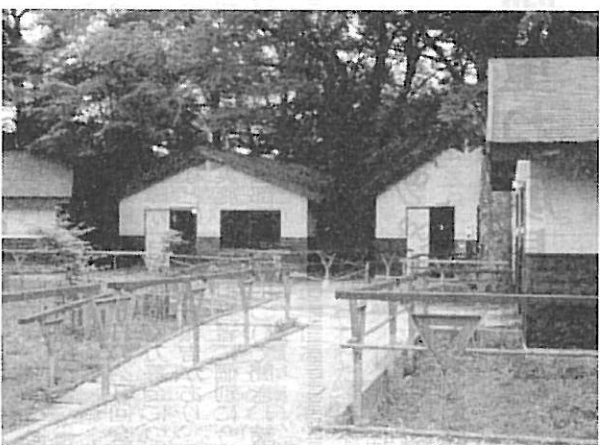
課題整理し進む年に

くかかという課題は、私たちが東京YMCA全体を順調に運営できるかどうかの大きなポイントとなります。そのために課題を整理して解決策を練らなければなりません。

2007年は

このことは、足元を固めながら更に先の問題に目を向けられるようになるということに他なりません。

先述の東陽町センターの課題解決への初年度として位置付け、東京YMC Aの経営の更なる改善を進め、皆さんと共に祈り、協力して使命達成のため、の事業展開を引き続き行いたいと思います。



障がい児・者—幼児のびのび

山中湖センター施設整備

景観も参加者にも十分な配慮

東京YMCAにとって最初の常設キャンプとして、1923年に山中湖センターが開設された。

以来、多くの青少年を賣
以て、この地で「山中家族キ
ャンプ」が75周年を、「手
足の不自由な子ども達のキ
ャンプ」が50回、「フレン
ドシップキャンプ」が30
回をそれぞれ迎え、幼児や
少年がいをもつ子どもたち
の場として大切にいられて
きた。

しかし、開設80年を越え、施設であったため、老朽化や手狭な部分も出てきていたのが実情であった。特に障がいをもつ子どもへのキャンプでは、昼過ぎより交響曲での入浴をせざるを得ない状況があり、浴室を中心とした施設整備が求められていた。

そこで、東京YMCA2006年度活動方針の重点項目にも取り上げ、車椅子で複数名が同時入浴できるとしてスロープを備えた浴室建設設備やキャビン前通路の整備補修、現浴室の改修、キャビン床の補修を盛り込んだ大規模整備計画が立てられた。

山中湖センターの景観を損ねないよう配慮し、

目標は1千万円

整備募金にご協力お願い

山中湖センターの施設整備事業着手に伴い、建設費の一部を、東京YMCAに連なる皆様へ募金をお願いすることが決定した。 目標金額は1千万円とし、山中湖センターを利用	される方々からの一般募金と、募金委員会を組織しグループで進められる賛助募金の2通りで進められることとなった。 整備募金の期間は、2007年2月1日～7月31日	までの6ヶ月間を予定している。 多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。 (賛助会事務局 南宮成一)
--	---	--

□□□山中湖センター施設整備募金□□□

募金は所定の銀行、郵便局または各センター
受付窓口でお預かりいたします。
期 間：2007年2月1日～7月31日
銀行振込：三菱東京UFJ銀行 神田支店
(財)1046506
(附)東京キリスト教青年会
郵便払込：00110-2-64598
東京YMCA山中湖センター
施設整備募金

総主事室から

市民社会の核目指す年

◇自立した公益法人として大切な事のひとつは、事業の遂行と共に財政的にも安定した運営を行うことであり、変動する社会で、組織の持つ願望を維持してさらに前進する年としましょう。◆私たちに与えられてある、10力を超えて各拠点においては、事業運営をするにとどまらず、態度なく、画一的なものではなく、それぞれの拠点特有の事業や活動を生かしたものと考えます。

◇一方で、会員が主体的に地域社会の課題に応ずる年とします。流が被災者の方々を元気づけ、力づけることとしよう。市民が期待する社屋づくりⅡ市民社会の核となるようにしたいものです。(廣)

関わりを整える力があることとをふまえない。時空を超えて顕在するキャンプ地設営の理念は継承してゆきたい。

齊藤實